## 10　県研究婦人学級

(1)　趣　　旨

婦人学級は県内全市町村に開設され、広く婦人の学習の場として定着してきたが、時代の進展とともに変化していく婦人の生活課題をとらえて学習していくことが極めて重要となってきている。

この時にあたり、婦人の生涯の各時期における学習課題の研究とともに、学習内容の充実と学習方法の改善についての研究を委託し、その成果の波及効果を図る。

(2)　研究主題

。就労婦人の学習内容の充実と効果的な学習方法のあり方

(3)　委託の対象　　市町村教育委員会

(4)　委託の期間　　昭和56年6月1日～昭和57年2月28日

(5)　学習時間　　20時間以上

(6)　委託の条件　　委託の経費として1学級あたり、県費100,000円を交付する。

(7)　委託の方法　　各教育事務所より推薦され、希望する学級のうち、適当と思われるものに委託する。

(8)　委託学級名

①　飯坂町おおとり婦人学級

②　只見町こぶし婦人学級

## 11　県研究婦人学級研究協議会

(1)　趣　　旨

県研究婦人学級の委託にあたり、その適正な運営を期すため、設置の趣旨についての理解を深めるとともに、研究の進め方や望ましい学習内容・方法について研究協議する。

(2)　期日・会場

①　期　日　昭和56年5月15日

②　会　場　福島市中央公民館

(3)　参加者

昭和56年度県研究婦人学級事務担当者　　4名

(4)　内　　容

①　説　明　　研究学級設置の趣旨と指導の重点

②　協　議　　委託にともなう研究の進め方ならびに学級の運営について

③　事務連絡　　委託にともなう事務について

## 12　県婦人教育指導員の設置

(1)　趣　　旨

婦人教育の重要性にかんがみ、各教育事務所に婦人教育指導員を置き、市町村における婦人教育に関する指導助言を行い、もって婦人教育の振興充実を図る。

(2)　昭和56年度県婦人教育指導員名簿

| 管内 | 氏名 | 住所 |
|---|---|---|
| 県北 | 遠藤よね子 | 福島市飯坂町字馬場9－3 |
| 〃 | 吉野尚子 | 伊達郡伊達町鍛治屋川2の22 |
| 〃 | 平栗貞 | 二本松市根崎1－101 |
| 県中 | 角田舒子 | 郡山市七ツ池18～20 |
| 〃 | 斎藤政子 | 岩瀬郡鏡石町大字鏡田字不時沼97－163 |
| 〃 | 務川裕子 | 石川郡石川町字新町24 |
| 〃 | 佐藤京子 | 田村郡滝根町大字菅谷字深和田20 |
| 県南 | 村越信子 | 白河市字寺小路42 |
| 〃 | 渡辺トシ子 | 東白川郡棚倉町大字棚倉字堂ノ前甲12－12 |
| 会津 | 郡孝子 | 会津若松市旭町7－9 |
| 〃 | 清水美代子 | 喜多方市字永久7695－2 |
| 〃 | 松谷恭子 | 河沼郡柳津町大字柳津諏訪町甲105 |
| 南会津 | 渡部多美 | 南会津郡田島町大字永田字鳥居戸1860 |
| 相双 | 牧野芳子 | 原町市上町3の19 |
| 〃 | 木幡キサ | 双葉郡大熊町大字野上字山神56 |
| いわき | 岩村幸子 | いわき市鎌田字西山下86－34 |

## 13　婦人教育関連事業

(1)　福島県婦人大会

①　主　催　福島県婦人団体連合会

②　趣　旨

80年代のきびしい社会と国際情勢に対応して、消費生活の見直しをはじめ、青少年健全育成等の当面する問題について研究協議し、地域活動への参加の促進を図る。

③　期　日　昭和56年10月23日

④　会　場　須賀川市文化センター

⑤　参加者　県婦連単位会　3名～5名　約1200名

⑥　内　容

ア　実践発表

A　青少年問題　　大沼郡東部高田婦人会

B　省資源問題　　原町市高平婦人会

C　明るい選挙　　福島市佐倉婦人会

イ　講　演　　「80年代の婦人の役割」

評論家　　草柳　大蔵

(2)　昭和56年度婦人研修のつどい（県婦人会館事業）

①　趣　旨

婦人団体の活動は、社会情勢とともに変化しつつある。他団体との連携を保ち、明るい地域づくりのため、婦人団体のとりくむべき課題について研究協議し、実践力の向上を図る。

②　期　日　　昭和56年9月1日～2日　　1泊2日

③　会　場　　㈶福島県婦人会館

④　参加者　　50歳未満の婦人会員　50名

⑤　内容及び方法